

防水形外装薄塗材E（ゆず肌状、さざ波状・ローラー）工法例

工 程		塗料その他			日本ペイント 商品名	所要量 (kg/㎡)	塗り 回数
		規格 番号	規格名称	種類			
下地調整		15. 6. 5による。				—	—
1	下塗材	JIS A 6909	防水形外装薄塗材E 下塗材	—	(1液・水系) ①水性カチオンシーラー 透明 無希釈	0.1 以上	1
2	増塗材	JIS A 6909	防水形外装薄塗材E 主材	—	(1液・水系) ①DANシリコンセラー 水道水 0～6%	0.5 以上	1
3	主材基層	JIS A 6909	防水形外装薄塗材E 主材	—	①DANシリコンセラー 水道水 0～6%	0.7 以上	1～2
4	主材模様	JIS A 6909	防水形外装薄塗材E 主材	—	①DANシリコンセラー 水道水 5～10%	0.2 以上	1

* JIS A 6909 防水形外装薄塗材の規格では、上記以外に下記の商品も使用可能です。

(①マーク品の組合せが、JIS A 6909適合仕様となります。)

●下塗材（既存塗膜の状態や下地の種類等により使用できない場合があります。)

①水性カチオンシーラー（ホワイト）（1液・水系)

①ウルトラシーラーⅢ（透明）（1液・水系)

①浸透性シーラー（新）（2液・溶剤系)

①ファイン浸透シーラー（透明・ホワイト）（2液・弱溶剤系)

・1液ファインシーラー（1液・弱溶剤系)

※新設の押出成形セメント板、GRC板などの場合は、浸透性シーラー（新）、ファイン浸透シーラー（透明・ホワイト）を使用してください。

(4) 外装薄塗材Sは、次による。

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する量の専用薄め液で均一になるように行う。

(イ) 下塗りは、(1)(イ)による。

(ウ) 主材塗りは、(1)(ウ)(a)による。

(5) 内装薄塗材C及び内装薄塗材Lは、次による。

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。
なお、練混ぜ量は、仕上塗材の製造所の指定する可使時間以内に使い終わる量とする。

(イ) 下塗りは、(1)(イ)による。

(ウ) 主材塗りは、次による。

(a) 吹付けの場合、(1)(ウ)(a)による。

(b) ローラー塗りの場合、(1)(ウ)(b)による。

(c) こて塗りの場合、(2)(ウ)(c)による。

(6) 内装薄塗材Si及び内装薄塗材Eは、次による。

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。

(イ) 下塗りは、(1)(イ)による。